

## 研究結果

本研究は、戦後社会運動をテーマとして独立映像作品を制作してきた日韓両国の独立映像作品を比較研究することを目的とした。まず研究の第一段階として、戦後1970年代から1980年代にかけて高度経済成長を目指していた韓国社会に注目し、韓国市民社会に向けて自分たちの権利を訴えた韓国女性労働者の話を扱った映像を集め、その傾向と作品の意味を検討しながら、一方で、市民社会に向かった日本の独立作品を集めてきた。

1年間の研究結果としては、まず「90年代以降、韓国女性映像作品に表れた女性労働者の再現と‘行動主義’の傾向に関する検討」というテーマで口頭発表と研究論文を発表した。これからの研究は、今回の研究を進めてきた際に集めた日本の資料と作品をもとに、日本の‘布川鉄次郎’独立社会ドキュメンタリー作品に見られる市民社会運動について研究するつもりであり、そこから韓国と日本で比較対象できる接点を見つけ出し、その意味を考察したいと思っている。

「90年代以降、韓国女性映像作品に表れた女性労働者の再現と‘行動主義’の傾向に関する検討」という研究テーマは、日本と韓国を往来しながら3回の講演で発表した。韓国ではアジア女性研究会、日本では映像学会でのそれぞれの講演内容をまとめ、現在、アジア女性研究会では審査中、映像学会では2009年8月までに日本語による論文を発表すべく、準備を進めている。

「90年代以降、韓国女性映像作品に表れた女性労働者の再現と‘行動主義’の傾向に関する検討」という研究は、韓国の女性市民団体をひとつずつ探し出し、整理されなかった記録映像を個人的に集めて、その内容を分析し、歴史的な位置付けを試みた研究である。特に韓国では、90年代以降、韓国女性労働者の問題を扱った映像作品が市民団体や個人的なアマチュア作家によって制作・発表されたと云う特徴があり、その精神的な源は、80年代に登場した韓国の民衆美術運動から遡って考えることができる。このような韓国の女性労働に関するテーマは、1970年代に実行された高度経済成長を目指した軍部政権の方針を歴史的な背景としたものである。従って、市民社会に向かって女性の労働に関する権利を発言しようとする目的で制作された作品には、‘女性性’という概念を探求しようとした本質的なフェミニズムの概念を扱った内容ではなく、80年代の韓国社会運動をコンテクストとして試みた女性労働運動の精神に基づいたものである。そして‘行動主義’傾向が強く、そうした歴史的な根拠は‘行動主義’という言葉を始め使いながら活動を広げたハンガリー行動主義の活動を検討することによって、文化活動における‘行動主義’とは何かということが明確になる。それは第二次世界大戦後、登場した独立国家たちが苦勞して勝ち得た経済成長と民主化を定着させた近代化の道程を背景としたもので、特に韓国の場合では、高度経済成長を支えた女性労働者の労働という問題について扱ったいろいろな話題作が、女性作家や市民団体によって次々と制作されたわけである。戦後の市民社会運動との関わりで制作された映像作品の場合、こうした傾向は韓国の特徴とも考えられよう。今後の研究課題では、戦後、日本は、市民社会造りに向かってどのような問題に取り組み、それにつれてどのような映像作品を作り、どんなメッセージを伝えようとしてきたのかを、韓国と比較しながら探求し、研究を更に一步深耕させたいと思っている。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

- ・ *The Activistic features of Korean Women's Independent Film: Woman, Labor, Film.* Japan: the 22th Asian Studies Conference Japan(ASCJ), 2008.06.22. Tokyo: Rikkyo University.
- ・ 「90年代以降、韓国女性映像作品に表れた女性労働者の再現と‘行動主義’傾向に関する検討」、韓国：第3回韓国言語文化国際学会、2008.08.02. ソウル：慶姫大学
- ・ 「90年代以降、韓国女性映像作品に表れた女性労働者の再現と‘行動主義’傾向に関する検討」、韓国：美術史研究会、2008.09.06. ソウル：詳明大学

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

- ・ 「90年代以降、韓国女性映像作品に表れた女性労働者の再現と‘行動主義’傾向に関する検討」、日本：『映像学』、2009年、8月 (提出予定)

個人的な資料集

- ・ 日本の社会ドキュメンタリー作家と配給会社連絡集
- ・ 日本の社会ドキュメンタリー作品DVD収集
- ・ 韓国の女性作家たちの女性労働に関する独立映像作品収集

## 研究結果 (英文)

### **Consider on the Feature of Activism and the Representation of Woman's Labour in Korean Woman's Filmmaking since the 1990s**

Since the rapid industrialization in the 1960s and labor-intensive export industries in the 1970s have promoted, Korean women began to assume the role as a part of Industrial labor in the Korean capitalistic society, and experienced inequality in the patriarchal capitalism. The movements for Korean women's liberation were initiated with struggling for the right to live on the center of the women's labor union that was organized by Korean female manufacturing workers, because they had been suffering from various inequalities such as many hour's work and low wages in Korean society driving economic policies for high growth that was based on women's cheap labor until that time. However, these early Korean feminist movements were less women's liberation movements or feminist culture and art movements than women's labor movements and mass struggles. And it dealt with pressing issues such as anti-dictatorship, democratization and struggle for the right to live rather than women-specific issues.

Here, we need to pay attention to the questions of why Korean feminist art movements started from describing women workers, and the Korean feminist cultural movement and filmmaking have been continuing to describe the women's workers. Namely, Korean feminist art movements had the cultural background that emerged with the Jun Struggle and the July&August Labor Struggle in 1987 and acted in the line of Korea folk art movement. This situation led Korean women artists to deal with the problem of social inequalities that women experienced in the course of Korean policies focused on economic rapid growth. It became the starting point of Korea feminist cultural movement. Korean women started the feminist art movements by themselves in order to prove the justness and value of their 'labor' in the economic growth of Korean society as the independent countries after the second world War. After starting Korean feminist art movements, videos and films that are easy and cheap to manage, it was distributed widely to people, and then there appeared many small groups of female filmmakers who tried to communicate women's messages to the public. Taking note of the fact that the trend of Korean feminist culture and art movements including filmmaking originated in connection to Korean women's labor movements and developed into the trend of activist arts. Accordingly, Korean feminist art movements and filmmaking activities are considered to have the tendency of 'activism'.